

PORTA DI FIORE

創	刊
号	2012 11 月

発行 フィオーレ・オペラ協会 発行人 西 正子

＜ポルタ ディ フィオーレ創刊号に寄せて＞

早いもので、フィオーレ・オペラ協会を立上げて、既に六年もの歳月が流れました。最初はあるオペラ公演で共演し、その後懇意にさせて頂いているヴァイオリニストの立田祥子さんと二人で、「自分達の手で、オペラが上演出来たら、どれ丈素晴らしいだろうね」とお互いの共通の夢を語り合っていました。2007年、秋のことです。私は、「やるにはまず会場を決めなくちゃ」と思い、市川市文化会館を予約しました。予約した後すぐに、立田さんにそのことを話し（ちょっとびっくりしていましたが。）『トスカ』を上演することに決め、オペラ公演実現に向け動き出しました。思いの外大変だったのが児童合唱団で、これは石本恵理さんが子供達を集め、音楽指導の他、全て担ってくれました。

フィオーレ・オペラ協会の第一回目の公演は2008年7月17日、市川市文化会館の小ホールでの『トスカ』でスタートしました。それから毎年僅かですが公演の入場料の中から寄付をしながらオペラ本公演『椿姫』『ランメルモールのルチア』『イル・トロヴァトーレ』『仮面舞踏会』その他チャリティーコンサート等を上演してきました。

今年10月にはフィオーレ・オペラ合唱団はラッセル・ワトソンのバックコーラスも務めることが出来ました。この六年間続けてこられたのも、中心になって活躍し続けてくれた、須藤慎吾さん、村上 敏明さん や立田 祥子さんをはじめ多くの出演者やスタッフ



※2010年『ランメルモールのルチア』より※

の方々のお力によるものと心から感謝しています。練習に励んだり、公演している皆さんの姿を見てると本当に良かったなと思うのです。そして今また、新たに『ポルタ ディ フィオーレ』（花の扉）というフィオーレ・オペラ協会の機関誌が発刊されることに大きな喜びを感じています。フィオーレ（花）という意味は、これからも花のように美しく咲き続けていしましょう、という私の願いなのです。

会則の宣言にある“私達がオペラになる。オペラが私達になる”この高みを目指して、これからも皆さんと頑張っていこうと思っています。

フィオーレ・オペラ協会 会長
フィオーレ・オペラ合唱団 団長

西 正子



須藤 慎吾 SHINGO SUDO バリトン



※2009 年『椿姫』より※

この度はポルタ・ディ・フィオーレ創刊、そしてフィオーレ・オペラ協会発足 5 周年おめでとうございます。

この会報により、協会のことをもっと沢山の方に知っていただけることをとても嬉しく思います。

私が協会代表の西正子さんと初めてお会いしたのは、フィオーレができる前年、2006 年 11 月に出演したオペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」での共演でした。

オペラ稽古初回で彼女からかけられた最初の言葉は

「須藤さんはプロフィール写真のままの方ですね」でした。チラシに載っているプロフィール写真に対するさり気ない感想だったと思うのですが、なぜか印象的な言葉として記憶に残っています。それに対して私が持った彼女の第一印象は「とても華のある方」でした。

フィオーレという名称がどのようにして決まったのか伺ったことはないのですが、フィオーレ(花)は華のある西さんが主催する会にピッタリの名称だと思うのは私だけではないはずです。

2007 年に発足した会は、フィオーレの名に恥じない華々しい活動を続けています。

主な活動内容はオペラの全曲公演です。千葉や東京(サントリーホール、東京芸術劇場等)を中心に人気のある歌手を主軸に迎えて毎年行なっているのですが、新団体とは思えない質の高い舞台だと愛好家からも高く評価されています。その他の活動も多く、既に恒例となりつつある千葉商科大学でのオペラ講座(年 5 回～8 回)、コンサート(ラッセル・ワトソンとも共演!)、他団体や地方公演(日本ヴェルディ協会、石見オペラ等)のオペラ制作協力等、精力的に活動の場を広げております。

上記から分かるように、西さんはプロデューサーとして非常に優れているのですが、彼女はソプラノ歌手としても一流です。華のある舞台姿はもちろんのこと、難易度の高い曲(高音、長大なフレーズ、ベルカントオペラのメリスマ音形)をいとも簡単に演奏してしまう彼女は、日本でも数少ない完成されたソプラノ・リリコ・レッジャーロ・ダジリタです。

フィオーレでも演奏しました「ランメルモールのルチア」タイトルロールや「魔笛」の夜の女王のアリア、「椿姫」ヴィオレッタ役等、たくさんの名演がありました。これからもフィオーレのプリマ・ドンナとして、素晴らしい演奏を聞かせていただけるはずです。

フィオーレ・オペラ協会、ここにはソプラノ西正子さんを慕って沢山の音楽家や音楽愛好家が集っています。既に大きな花束となったフィオーレですが、これからさらに大きくて素敵な花束となるのを楽しみにしています。

(オペラ歌手)



※2010 年『ランメルモールのルチア』より※

立田 様子 SACHIKO TATEDA ヴァイオリン



※2006年『アドリアーナ ルクヴルール』より※

オペラ「アドリアーナ」は始まっていたのだった。ものすごく 新鮮だった！！ ほ~~~~~
~~~~と。そのオーラ・・・ホール中に響き渡る声で圧倒しオペラのオの字も知らない私でさえも「この人は いったい何者??」と振り向かせた。西さんのアドリアーナは、それは声も姿も美しく・・・・・・でもそのとき「私 死にそうに見えるかしら・・・」と聞かれたのを覚えている。普段の彼女を知っている人は、「クスッ」と笑うはずだ。そんな彼女が一度だけ本当に死にそうだったことがある。病院に付き添おうと取るもとりあえず、紹介した病院に普段着のままかけつけたら、タクシーから降り立っただけは苦しそうではあったが スーツを着ていつもどおりの彼女だった。“夢を売る仕事なんだから 髪の毛を振り乱してなんて・・・”と・・・・。きっと、一緒に入ったら、医者は私のほうを診察したに違いない。

出会ってから6年。。。舞台では だいぶ「上手に死ぬる」ようになった！！といたいだが、私は後ろ向きで必死に弾いているので 気配しかわからない。

公演を重ねたあるとき 須藤さんが「僕らのフィオーレは・・・」と 誰かに言っている声が聞こえた・・・  
「あれ？西さんと私と制作の人で立ち上げたんだけどな・・・？」と思いつつ・・・同時にとても嬉しかった。  
今や「須藤組」とまで陰で呼ばれているとか・・・え・・・?? シーッ 内緒？

本公演や商大の講座で 次々と魅力的な歌手たちが登場し ステキなピアニスト達・・・。  
確実に「組員？」は増えている。どんな事情であろうと にこにこしながら皆にお茶菓子を配ったり、話題を振ったり。苦労をものともせず

いつでも明るい西さんが主催だから  
フィオーレは続いている。  
そして私はどんどん成長し、レベルアップしていくフィオーレに取り残されないようどこまでもバイオリンを抱えて必死について行くつもり！

次はどんなオペラを演奏できるかなあ。。。  
(市川交響楽団コンサートミストレス)



※2009年『椿姫』より※





## 佐分利 幸江 YUKIE SABURI ソ프라 /



私とオペラの出会いは中学2年の時。音楽の先生が学年全員をモーツァルトの魔笛の観劇に連れて行って下さったのがきっかけです。その時の舞台は今でもはっきりと覚えています。

夜の女王の人間離れした高音に舌を巻いたり、パパゲーノの笛をほしいと思ったり。今でも魔笛を聴くたびに思い出すのはその舞台です。

私は子供の頃から歌が大好きでしたが、大学剣道部で気合い(かけ声)で声をつぶしたので、将来自分が歌を歌うことなんてないと思っていました。しかしやりたくても出来なかったものは、諦めずに生きていればいずれ機会が訪れるものなのですね。

今年フィオーレ・オペラ協会のカルメンに合唱で出たのが私の初舞台です。私にとっての魔笛同様、初めて見たオペラの印象は何十年も忘れないものだと思いますので、もしかしたら今、出演している舞台がお客様にとって初オペラかもしれないということを胸に刻みながら、これからも取り組んで参りたいと思います。

## 石本 恵理 ERI ISHIMOTO メソソ프라 /

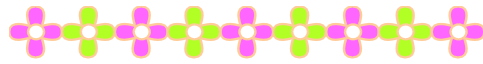
私がフィオーレ・オペラ協会の第1回公演に参加させていただいてから早5年になります。西さんとヴァイオリンの立田さんが、トスカの子供合唱を探しているが、どこの合唱部も夏のコンクールと重なり困っている、というお話を伺いました。

私の学校の吹奏楽部の子供たちでよければ出させてくださいということになり練習を始めましたが、ラテン語はたいへん難しく吹奏楽部の練習後、毎日4小節ほど暗記をさせました。やっと暗記はできても普段歌をあまり歌っていないので、表情が硬かったり動きが鈍かったり ずいぶん演出や指揮者の先生をやきもきさせたことと思います。私も毎回練習に参加していたので、ついでにあなたも歌いなさいということになり、私のオペラ出演は、そこから始まりました。なんと次の年からは、子供抜きで毎年連続出演させていただいています。どのオペラも歌い込んでいくとどんどんその中の歌が好きになっていきます。暗記は大変苦手ですが、これからも新たな世界の発見を楽しみに、続けていきたいと思っています。



※2008年『トスカ』より※





## 林 二郎 JIRO HASYASHI バリトン



小学生の頃から歌が好きだった僕は、高校の男声合唱団に入りミサ曲などの宗教音楽を歌っていました。

そんな僕がオペラの合唱をするようになったのは、10年ほど前にヨーロッパ旅行をした時、オペラ公演を観てピーンときたのです。オペラは観るよりも出演する方がずっと楽しそうダッ！と。

日本へ帰り早速あるオペラ団体の『カヴァレリア ルスティカーナ』公演に参加することにしました。

それからというもの、オペラ独特のハーモニーに惹かれた僕は新しい演目に挑むべくこのフィオーレ・オペラ協会にやって来ました。年代の違う仲間との練習後の一杯は何と言っても欠かせません。今後の抱負は毎年一つでも多くの演目をこなして行くということです。新しい歌との出会いは新しい仲間との出会いです。音楽を介して出会った人々と分かち合う時間は何ものにも代え難く、また日々を鮮やかに彩る絵画のようです。次はどんな仲間に出会えるのか楽しみでなりません。

## 山崎 守 MAMORU YAMAZAKI バリトン

3年前、ある声楽家の結婚式でプロ歌手50人が歌った「乾杯の歌」の大合唱を聞いて僕もいつかこの「乾杯の歌」を歌いたい！と思っていました。それから暫くして、指揮者の柴田真郁さんから「今度フィオーレ・オペラ協会が『椿姫』を上演するんだけど、合唱で参加しませんか？」というお誘いを受け、即座に「お願いします。」と答え、初めてオペラに出演したのがフィオーレ・オペラ協会との出会いです。以来フィオーレの公演には毎年出演しています。

今年はサントリーホールブルーローズでの『椿姫』で、使者の役を

演じました。これからも、団長の西さんの温かいお人柄やオペラに対する考え方に惹かれながら、楽しく活動が続けていきたいと思っています。お陰で私の周りには沢山のフィオーレのファンが増えました。

私の人生がとても豊かになったような気がしています。



## 団員募集

あなたもフィオーレ・オペラ合唱団の団員になって舞台上で歌ってみませんか？臨場感溢れる感動が得られます。素晴らしい仲間が待っています。定期練習は毎週一回。団費は年2万円です。是非下記にご連絡下さい。

・・・フィオーレ・オペラ協会事務局

〒272-0822 市川市宮久保 1-33-6

TEL/FAX 047-371-0921

Mail address fiore.opera@ab.auone-net.jp

Home page address <http://fiore-opera.com/>



## フィオーレ・オペラ協会 2012 年の活動

### <主催公演>

#### ☆ニューイヤー チャリティーコンサート

1月7日 四谷区民ホール 出演：須藤 慎吾、立田 祥子、西 正子他

#### ☆チャリティ公演 オペラ「椿姫」 全3幕

4月14日 サントリーホールブルーローズ

出演：西 正子、村上 弘明、須藤 慎吾 他 ピアノ：田村 ルリ バレエ、合唱

#### ☆オペラ「仮面舞踏会」 全3幕

10月20日 市川市文化会館小ホール

指揮：大浦智弘 オーケストラ：立田 祥子 他 ピアノ：竹之内 純子 合唱、バレエ

出演：村上 敏明、須藤 慎吾、巖淵 真理、佐藤 泰子、西 正子 他



※2012年『椿姫』より※



※2012年『ラッセル ワトソン公演』※

#### ☆島根根浜田公演

8月11日 石央文化大ホール ・オペラ「スザンナの秘密」 ・オペラ「ジャンニ スキッキ」

指揮：鈴木 恵理奈 オーケストラ：立田 祥子 他

ピアノ 田村 ルリ 出演：須藤 慎吾 志田尾 恭子他

#### ☆オペラ「カルメン」 全4幕

9月16日 東京芸術劇場ウエストホール

指揮：岸本祐有乃 オーケストラ：立田 祥子他

合唱、児童合唱 バレエ

出演：小林 由佳、小山 陽二郎 須藤 慎吾、津山 恵他

#### ☆ラッセル ワトソン公演

10月22日、23日 オーチャードホール

フィオーレ・オペラ合唱団バックコーラス

#### ☆オペラ名作講座 全2回 市川市駅南公民館

・10月27日 オペラ「椿姫」・11月4日 オペラ「ランメルモールのルチア」

オーケストラ：立田 祥子 ピアノ伊藤 亜紀、 出演：高柳 圭、野村 光洋、西 正子他

#### ☆ファミリー交響楽 ・オペラ「魔笛」・オペラ「ニーベルングの指輪」 指揮：安藤 敬 オーケストラ：市川交響楽団

12月9日 市川市文化会館大ホール 出演：須藤 慎吾、青柳 素晴、津山 恵、西 正子他

### <共催公演>

#### ☆千葉商大オペラ講座（全5回）

4月21日、5月26日：オペラ「ドン パスクワレ」

6月9日：オペラ「スザンナの秘密」

6月23日：7月7日：オペラ「カルメン」 指揮：仲田 淳也

オーケストラ：立田 祥子 他 合唱、児童合唱 バレエ

出演：加賀 ひとみ、小山 陽二郎、須藤 慎吾 津山 恵 他

### <編集後記>

機関誌ポルタ ディ フィオーレを発刊するよう西団長からの下知を受け、編集人を拝命しました。フィオーレの新参者ですが皆様のご協力を賜りまして何とか創刊号を発刊することが出来ました。作りながら次号からは読者の方とも一緒に作っていけるといいなと感じました。今回の出来栄えは如何でしょうか？ご感想をお聞かせ下さい。



フィオーレ・オペラ合唱団テノール 秋山 修

### ☆2013年フィオーレ・オペラ合唱団活動予定☆

・4月13日(土)サントリーホールブルーローズ オペラ『リゴレット』(全3幕)

・7月7日(土)、28日(土) 千葉商科大学 オペレッタ『こうもり』(全3幕)

・8月11日(日) 神奈川県立音楽堂 オペラ『椿姫』(全3幕)

・9月 ラッセル ワトソン公演 バックコーラス

・12月 コンサート

